

大気環境保健に対する行政の取組

環境省環境保健部長 岩尾總一郎

1. 公害健康被害の補償及び予防

(1) 趣旨と経緯

- ①昭和30～40年代の激甚な公害による健康被害
急速な経済成長と都市化→水俣病、イタイイタイ病、四日市ぜん息等の公害の発生
- ②昭和48年の公害健康被害補償法（公健法）の制定
民事責任を踏まえ、公害健康被害者の迅速かつ円滑な救済を図るための制度（汚染原因者の負担に基づく公害健康被害者への補償給付等）を確立
- ③大気汚染状況の変化と昭和62年の公健法改正
 - ・第一種地域（大気系）の地域指定を解除
 - ・健康被害予防のための総合的な環境保健施策の推進

(2) 総合的な環境保健施策の推進

- ①環境保健サーベイランスシステム
 - ・長期的かつ予見的観点をもって、地域人口集団の健康状態と大気汚染との関係を定期的・継続的に観察
 - ・平成8年度から30余の地域において、3歳児を対象に実施
- ②道路沿道等局地的汚染の健康影響に関する調査研究
汚染レベルの高い道路沿道等における健康影響評価の指標となる大気汚染物質の個人暴露量等の測定手法の確立等を図る
- ③健康被害予防事業
 - ・大気汚染の影響による健康被害の予防に関する調査研究・知識の普及、低公害車の普及等の環境改善事業
 - ・健康相談・健康診査・機能訓練等の環境保健事業の推進

2. 大気汚染の現状と対策

(1) NO_x（窒素酸化物）、SPM（浮遊粒子状物質）

- ①特に大都市地域を中心として大気汚染は依然として厳しい状況

②対策

- ・固定発生源対策
- ・自動車環境対策

a) 自動車NO_x法の改正（平成13年6月）

自動車から排出されるNO_x、PM（粒子状物質）による大気汚染を改善するため、従来からのNO_xに加えPMを対象物質として追加、事業者に対する措置の強化、対策地域の拡大、車種規制の強化等

b)低公害車の普及促進

- ・総理指示による政府の一般公用車の低公害車への切替え
- ・環境省・経済産業省・国土交通省の3省合同による「低公害車開発普及アクションプラン」の策定(平成13年7月)

c)ディーゼル車対策

- ・排出ガス及び燃料品質の規制の強化
- ・ディーゼル粒子後処理装置(DPF)の装着に対する補助

d)DEP(ディーゼル排気粒子)のリスク評価

(2)有害大気汚染物質

①多様な大気汚染物質の低濃度、長期暴露による健康影響が懸念

→モニタリングの実施

平成11年度、改正大気汚染防止法に基づく指定物質のうち、ベンゼンは23%の調査地点で環境基準を超過

②対策

- ・大気汚染防止法に基づく排出抑制、事業者の全国・業界団体単位の自主管理の促進
- ・ベンゼンの高濃度地域については、地域単位の事業者による自主管理を平成13年度から開始

(3)ダイオキシン類

①極めて強い毒性及び難分解性を持つため、環境を経由して人の健康に大きな影響を与えるおそれ

②ダイオキシン類対策特別措置法(平成11年7月)に基づき、TDI、環境基準の設定、排ガスの規制等の対策を実施

→ダイオキシン対策推進基本指針(平成11年3月)において設定された「平成14年度に全国のダイオキシン類の排出総量を平成9年に比べ約9割削減」との目標の達成を図る

3. 新たな化学物質対策

(1)PRTR(環境汚染物質排出移動登録)制度

①概要

- ・PRTRとは、人の健康や生態系に有害なおそれのある化学物質の環境への排出量及び移動量を登録して公表する仕組み
- ・化学物質による環境汚染の未然防止に関する国民の関心の高まりや1996年のOECD勧告等の国際的な動向を受けて、1999(平成11)年に法制化
- ・従来の規制的手法ではなく、事業者による化学物質の自主的な管理の改善を促進し、環境の保全上の支障を未然に防止する全く新しい仕組み

②今後の予定

平成13年4月に、事業者による排出量等の把握が開始。平成14年4月から事業者からの届出開始。第1回の届出データの集計・公表は平成14年度後半になる予定。これらと並行して、リスクコミュニケーション(化学物質の環境リスクに関する、

行政、事業者、国民、NGO等の各主体間の情報の共有と相互理解)を推進

(2) 内分泌かく乱化学物質(いわゆる「環境ホルモン」)

生体内に取り込まれることによりホルモン類似作用又は阻害作用を及ぼすとされる化学物質による、人や動植物への影響が懸念

→「環境ホルモン戦略計画SPEED'98」も踏まえつつ、平成12年度からミレニアムプロジェクトにより3年間で40物質以上のリスク評価を推進中

(3) 化学物質過敏症

微量な化学物質によってアレルギー様の反応が生じ、様々な健康影響がもたらされる病態の存在の指摘

→平成9年度から本病態の解明を図るための調査に着手